

石炭・コークス・バイオマス用 迅速灰分測定装置 連続灰分分析計

商品番号: KT-TE38



前書き

迅速なラボ分析のために設計されたこの連続灰分測定装置は、標準的な工業用試験方法に従って、石炭、コークス、バイオマス燃料の自動灰化を実現します。精密な温度ゾーニングと調整可能な搬送機能を備え、突沸（デフラグレーション）を防ぎながら、優れた分析の再現性を確保します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
石炭採掘・選炭	浮遊選鉱回路や重液選鉱密度を調整するための、原炭および洗浄済み精炭画分の連続モニタリング。	迅速な灰分フィードバックを提供し、石炭選炭歩留まりを最適化し、契約された等級分類を保証します。
火力発電	微粉炭納入品、ボイラー給炭ブレンド、残留飛灰または底灰ストリームの現場での工業分析。	ボイラーの汚れを防ぎ、空気と燃料の燃焼比率を最適化し、正確な燃料請求コンプライアンスを保証します。
冶金用コークス生産	連続高温炭化プロセス中の製鉄用コークスブレンドおよび最終高炉コークスサンプルの評価。	高炉スラグの化学的性質を保護し、溶銑生産効率を最大化するために、コークス灰分レベルを厳格に制御します。
バイオマス燃料製造	木質ペレット、農業残渣、林業用ブリケット、およびRPF（廃棄物固形燃料）の灰分歩留まり評価。	高アルカリ無機含有量を特定し、ボイラーチューブの腐食、クリンカリング、過剰な粒子状物質の排出を回避します。
商業燃料検査	輸出ターミナルおよび積替ハブにおける固体鉱物燃料の第三者品質検証および商業認証試験。	静的マッフル炉と比較してサンプルのターンアラウンド間隔を大幅に短縮し、義務付けられた標準公差を満たします。
廃棄物発電（WtE）	エネルギー回収前の処理された可燃性都市ごみおよび産業スラッジブレンドの特性評価。	熱回収効率を計算し、飛灰処分を管理するために必要な正確な無機不燃性ベースラインデータを提供します。
セメントクリンカー製造	仮焼炉およびロータリーキルンの生コンクリート混合物に直接入る代替燃料源および石油コークス灰分寄与の迅速な検証。	安定したクリンカー化学組成を確保し、シリカおよびアルミナモジュラスの制御不能な変動を回避します。

仕様パラメータ	値 / 動作特性
製品アイテム番号	KT-TE38
炉チャンバータイプ	傾斜馬蹄形チューブチャンバー
内部チャンバー寸法	700 mm (L) × 75 mm (W) × 45 mm (H)
機器全体の寸法	1000 mm (L) × 290 mm (W) × 420 mm (H)
装置正味重量	40 kg
動作温度範囲	100 °C – 1000 °C（完全調整可能）
恒温高温ゾーン	815 ± 3 °C（ゾーン長 > 200 mm）
昇温性能	室温から815 °Cまで約60分

仕様パラメータ	値 / 動作特性
サンプル搬送速度範囲	5 mm/min – 50 mm/min (連続調整可能)
搬送駆動機構	高精度低振動モーター式チェーンコンベア
排ガス排気フロー	傾斜マッフル天井治いの自然対流式上方ドラフト
適用サンプル質量	ルツボあたり 0.5 ± 0.01 g
最大サンプル粒子サイズ	< 0.2 mm (標準篩分画)
分析規格への準拠	GB/T 212 石炭の工業分析に完全準拠
試験の正確さと精度	GB/T 212の再現性および許容限界内
電源要件	AC 220 V ± 22 V, 50 Hz
定格消費電力	1500 W